

## 肉のおいしさはエサで決まる

### 資源循環型農業のもと自家栽培したお米で育てた「諫美豚」

株式会社 土井農場

代表取締役 土井 賢一郎



諫早市が返礼品の贈呈をスタートした平成 27 年度から、ブランド豚「諫美豚(かんびとん)」を提供していただいている株式会社土井農場の代表取締役 土井賢一郎さんにお話を伺ってきました。

#### はじめに、土井農場が取り組んでおられる農業の内容をおしえてください

「食料を守りたい」そんな思いで農業を始めました。

今、我が国の食料自給率は 38%です。もし輸入が止まったら、6 割の日本人が死ぬかもしれないという恐ろしい数字です。「絶対にそんなことがあってはならない、自分が防波堤になって国民の食料を守る。」という思いで農業を始めました。お米の栽培と父の代から始めた養豚の経営を始めましたが、熱い思いとは裏腹になかなか思うように経営が出来ませんでした。

「どうすれば消費者の皆様の心を掴むことが出来るのか」

悩みに悩んだ末に出した結論が、先輩たちの真似をしてみようということでした。それが日本伝統の「資源循環型農業」でした。うちでは、米収穫後のわらやもみ殻は捨てずに、牛のエサや豚の敷きわらにします。また、豚舎から出る堆肥も捨てずに水田の土づくりに活用し、化学肥料を使わない安全安心なお米を作ります。

このように、全ての物を資源としてとらえ、その循環を促すことによって、自然環境を守りながら安全安心で美味しいより有機的な本物の農産物を消費者に提供する人と地球に優しい農業です。そうしていくうちに、「肉の味はエサで決まる。お米や野菜の味は土で決まる。そして、自然の流れに沿うほど美味しいものが出る。」ということに気づきました。

私はこの資源循環型農業を継承することによって、自然環境と国民の皆様の食料と健康と命を守っていくことを理念として日々頑張っております。

## 諫美豚はどのようにして生まれたのでしょうか

循環型農業の中で、ある時、「自分が育てた美味しいお米を食べさせたら美味しい豚肉になるかもしれない」と思い、試しにお米を食べさせてしばらく育ててみたところ、その豚の美味しさにとても驚きました。その後も更に美味しさを追求した結果、ブランド米「にこまる」を 33～100% 与えることにたどり着き、その美味しさに確信が持てるようになりました。

## ふるさと納税に関わるきっかけは何だったのですか

平成 26 年 12 月に諫美豚の直営店を出しましたが、豚肉の専門店は珍しいということもあり不安だったのですが、ちょうど翌年に諫早市がふるさと納税を開始するというので、市の担当者からオファーをいただき、返礼品として提供することになりました。順調に選んでいただき、ふるさと納税の伸びとともに諫美豚を知ってもらえるようになりました。ポータルサイト「さとふる」の豚肉部門で全国 1 位になったこともあります。

## 有名店で取り扱われ、TV 番組でも紹介されていますが、状況をおしえてください

東京品川のフレンチの三ツ星レストランを筆頭に、東京や京都などの数々の名店で取り扱っていただいています。取扱店のミシュランの星の数は 32 個になります。

また、地元の TV 番組には今でも出させてもらっていますし、長崎県出身の大人気歌手に番組の中で食べていただいたこともありました。好意にいただいているシェフの繋がりでも「ぐるナイ ゴチになります」でも紹介されましたし、JAL の国際線ファーストクラスの機内食にも採用されました。私は、諫美豚の美味しさを知ってもらうため、直接、シェフの方々に会いに行き、実際に食べていただきました。その成果だと思っています。

## 諫美豚のお肉だけでなく、新しい展開にも挑戦していますね

あるシェフから「世界のトップレベルを証明するなら生ハム原木を作るべきだ。黒豚諫美豚プレミアム 100 なら素晴らしい生ハム原木ができる。」と強く勧められ、生ハム原木を作りました。臭みがなく、とろけるような食感と上品な脂の甘さがあり、後に残らない美味しさが特徴です。「西のイベリコ、東の諫美豚」と呼ばれるようなブランドになりたいですね。

今後の一押しは、お米を食べさせた牛「諫美牛」です。甘みが強く脂がすっきりしていて、いくらでも食べられると評判で、すでにたくさんのミシュランを含むレストランで使っていただいております。



## ふるさと納税に対する思いをお聞かせください

ふるさと納税は地方創生の素晴らしい制度だと思います。ふるさと納税のおかげで諫美豚を知ってもらえ、食べてもらえるようになりました。ふるさと納税には大変感謝しています。行政と企業が一緒になって取り組めることが素晴らしい、まさに「諫早愛」を育てる制度ですね。

また、言わずと知れたことですが、子育てには沢山のお金と時間とエネルギーそして無償の愛情が必要です。地方で育てられたこの子供たちが、都会で働き都会でお金や税金を落としていくという日本の構造は「地方と都会の格差」を更に広めていくことになると思います。ふるさとに納税できるこの制度はこの格差を是正する素晴らしい制度だと思います。

最後に、新しい商品を世に出す時、ブランディングが非常に重要ですが、ふるさと納税制度を活用すれば、費用をかけずにそれができます。また、地方に住んでいるからこそ、そのブランディングが出来ます。今から何かやってみようと考えられている方は、是非ふるさと納税制度を活用して欲しいと思います。

2025.8.12

